

【教職員及び高校生の国際化について】

1	県内教職員及び高校生の国際化等に関する現状	
	(1) 高校生の海外渡航の状況.....	1
	(2) 海外高校生の受入れ状況等.....	4
	(3) 県内教職員の海外研修等の実績.....	5
	(4) 私立高等学校の国際交流の状況.....	6
2	本県の施策	
	(1) 高校生の海外渡航の促進策.....	8
	(2) 実践的なグローバル教育の推進.....	11
	(3) 高校生の国際交流の推進.....	12
	(4) 地域学に関する取組.....	13

(件名)

1 (1) 高校生の海外渡航の状況

(教育委員会高校教育課)

1 修学旅行実績 (平成 25 年度・全日制、定時制の集計。特別支援学校は除く。)

平成 26 年 11 月末に平成 25 年度の全国集計が公表された。本県は、**学校実施率 3 位 (H24 は 3 位)、生徒参加率 4 位 (H24 は 3 位)**であった。これは、行き先のうち韓国が 4 校減少したことが影響している。

※ 財団法人全国修学旅行研究協会調査 (平成 26 年 11 月)

	全体 (主に高 2 生)		海外実績		学校 実施率%	全国 順位	生徒 参加率%	全国 順位
	校数	生徒数	校数	生徒数				
公立	99	22,741	21	3,042	21.2	5	13.4	6
私立	43	10,560	20	3,294	46.5	16	31.2	14
合計	142	33,301	41	6,336	28.9	3	19.0	4
全国	3,675	762,602	810	134,131	16.2	—	12.1	—

<行き先校数> ※複数の行き先がある学校があるため、上記と一致しない

公立	韓国 1、台湾 5、シンガポール 4、マレーシア 5、オーストラリア 1、米国 7、グアム 1、イタリア 1、フランス 3
私立	韓国 1、台湾 4、中国 1、シンガポール 3、マレーシア 2、オーストラリア 3、米国 11、イギリス 3、イタリア 2、オーストリア 2、オランダ 1、フランス 2、ドイツ 1、デンマーク 1

<費用等>

- ・公立は、費用 11～23 万円、3～4 泊が主流。
- ・私学は、費用 14～48 万円、5 泊以上。
- ・国内の一般的な相場は、6～9 万円。

2 修学旅行以外の海外渡航

ア 長期休み等を活用した短期海外研修 ※主な行き先は、豪、米、英が多数

- ・学校主催 756 人 ・外部の主催 334 人 ・合計 1,090 人 (H25)

イ 休学しての留学 (3 か月以上) 合計 21 人 (H25)

ウ スポーツ活動や家族旅行等による一般渡航者数の詳細調査は困難

- ・台湾スポーツ交流で、野球 20 人 (H26)、バスケットボール 15 人 (H25)
- ・モンゴル交流で 30 人 (H25)

エ 「平成 27 年度官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～」

- ・県内高校生 26 人 (公立 21 人、私立 5 人) が申請し、7 人 (公立 6 人、私立 1 人) が合格 (全国：514 人の申請に対し 303 人が合格)

<県内総括>

- ・県内高校生は、1 年間で約 8 千人程度が海外渡航している。
- ・プライベートも含めた、県内公立高校生の海外渡航歴率は 22.2% (高校 3 年 4 月末時点の渡航歴率は 31.5%)、
- ・パスポート (有効旅券) 取得率は 18.0%。
- ・(高校 3 年 4 月末時点の取得率は 26.9%) (平成 27 年 4 月調査)

<別紙資料> H25海外修学・研修旅行等実施状況(公立高校)

<修学旅行>

	学校名	訪問国・地域	日数	生徒数	
1	韮山	米国	6	40	
2	三島北	フランス	5	292	
3	御殿場南	米国	5	239	
4	沼津西	米国	5	233	
5	清水東	(全日制)	オーストラリア	5	245
			米国	6	40
		(定時制)	シンガポール、マレーシア	4	9
6	清水南	フランス	6	150	
7	静岡	台湾	4	45	
8	焼津中央	米国	5	285	
9	藤枝東	台湾	4	282	
10	大井川	フランス	6	58	
		マレーシア	6	19	
		イタリア	6	88	
11	島田	マレーシア	6	237	
12	島田商	米国	5	41	
13	佐久間	韓国	5	42	
14	磐田北	シンガポール、マレーシア	4	40	
15	浜松東	シンガポール	4	77	
16	浜松工	台湾	4	41	
17	浜松商	シンガポール、マレーシア	4	81	
18	榛原(定時制)	グアム	5	15	
19	静岡市立	米国	6	42	
20	浜松市立	台湾	4	243	
21	清水桜が丘	台湾	5	158	
	公立計 21校			3,042	

<研修等旅行>

	学校名	訪問国・地域	日数	生徒数
1	韮山	イギリス	11	23
2	三島南	シンガポール	5	15
3	吉原	オーストラリア	21	35
4	富士	米国	6	27
5	静岡城北	オーストラリア	14	40
6	静岡西	韓国	5	15
7	小笠	イギリス	11	1
		オーストラリア	13	1
8	浜松北	ニュージーランド	29	40
9	浜松湖南	イギリス	16	20
		オーストラリア	23	37
10	浜松工業	台湾	5	13
11	静岡市立	米国	9	36
12	浜松市立	イギリス	17	11
	公立計 12校			314

H25海外修学・研修旅行等実施状況(私立高校)

<修学旅行>

	学校名	訪問国・地域	日数	生徒数
1	御殿場西高等学校	イタリア	8	25
2	加藤学園高等学校	台湾	5	102
		米国	4	152
3	沼津中央高等学校	米国	5	135
		米国	12	22
4	静岡県富士見高等学校	オーストラリア	9	28
5	星陵高等学校	フランス	5	184
		フランス	5	188
6	清水国際高等学校	台湾	4	231
7	東海大学付属翔洋高等学校	オーストラリア	6	88
		米国	10	23
		デンマーク、ドイツ、オーストリア等	10	1
8	静岡学園高等学校	シンガポール	5	116
		シンガポール	5	116
		米国	5	183
9	静岡北高等学校	イギリス	5	120
10	静岡大成高等学校	米国	5	203
11	常葉学園高等学校	イギリス、フランス	16	27
12	常葉学園橘高等学校	中国	5	64
		シンガポール・マレーシア	5	57
		米国	7	11
13	藤枝順心高等学校	米国	15	5
14	藤枝明誠高等学校	米国	15	128
		米国	7	125
		オランダ	10	45
15	常葉学園菊川高等学校	米国	5	145
		米国	5	138
16	浜松学院高等学校	米国	5	62
17	浜松学芸高等学校	イギリス	6	118
		マレーシア	6	52
		イタリア	6	26
		台湾	4	10
		オーストリア	7	29
18	浜松開誠館高等学校	台湾	4	75
		韓国	4	98
19	聖隷クリストファー高等学校	米国	8	90
		オーストラリア	8	10
20	浜松日体高等学校	シンガポール	5	62
	私立計 20校			3,294

<研修等旅行>

	学校名	訪問国・地域	日数	生徒数
1	不二聖心女子学院高等学校	米国	15	17
		韓国	6	17
2	三島高等学校	ニュージーランド	15	10
3	加藤学園暁秀高等学校	米国	23	15
		米国	25	4
4	星陵高等学校	オーストラリア	15	30
5	静岡英和女学院高等学校	カナダ	7	73
6	静岡北高等学校	オーストラリア	15	32
7	城南静岡高等学校	インドネシア	8	7
8	静岡聖光学院高等学校	カナダ	22	2
9	常葉学園菊川高等学校	オランダ、フランス	7	41
10	磐田東高等学校	オーストラリア	14	6
		オーストラリア	11	44
		台湾	5	13
11	オイスカ高等学校	インドネシア	15	24
		フィリピン	15	28
		フィリピン	9	22
12	浜松日体高等学校	イギリス、フランス	25	30
	私立計 12校			415

(件名)

1 (2) 海外高校生の受入れ状況等

(教育委員会高校教育課)

1 要旨

日本の学校教育や産業の状況を見学するだけでなく、富士山などの自然にも触れたいという要望から、静岡県への教育旅行が増加しており、県立高校のみならず私立高校、専門学校等への訪問・交流活動も行われている。交流の一般的内容は、歓迎式、授業参観・参加、部活動体験等である。

2 受入れ状況

平成26年度は、26校、1団体が来静し、延べ31高校（県立20校、市立1校、私立5校）が授業や部活動等で交流した。（台湾：23校、中国：2校、米国：1校、モンゴル：1団体）

件数	行先	訪問日	来静校	生徒数	引率数	添乗員	合計	受入校
1	台湾	4月21日(月)	光華高級工業学校	34	2	1	37	県立浜松工業高等学校
	台湾	4月22日(火)						県立島田工業高等学校
2	台湾	4月23日(水)	台中市私立弘文高級中学	137	9	3	149	県立富士高等学校 県立清水南高等学校
	3	台湾	4月24日(木)	内湖高級中學	35	2	1	38
台湾		4月25日(金)						
4	台湾	5月13日(火)	天主教曉明高級中學	37	3	1	41	静岡雙葉中学校・高等学校
5	台湾	5月15日(木)	国立嘉義高級家事職業学校	36	4	1	41	県立静岡城北高等学校
6	台湾	5月22日(木)	嘉華高級中学	33	4	1	38	県立静岡高等学校
7	台湾	5月23日(金)	高雄市中山高級職業学校	21	1	1	23	飛龍高等学校
8	台湾	5月28日(水)	?格高級中學	39	1	2	42	常葉学園橘高等学校
9	台湾	5月26日(月)	国立台南大学付属高級中学	37	3	2	42	藤枝明誠高等学校
10	台湾	5月26日(月)	台北市立大理高級中学	35	3	1	39	県立沼津城北高等学校
11	米国	6月11日(水)～ 15日(日)	サンフランシスコ市立 リンカーンハイスクール	12	1	1	14	県立清水東高等学校
12	台湾	6月24日(火)	国立蘇澳高級海事水産職業学校	32	3	1	36	県立熱海高等学校
13	中国	7月8日(火)	浙江省慈溪中学	38	4	1	43	県立焼津水産高等学校
14	台湾	8月4日(月)～ 8日(金)	国立員林高級農工職業学校	26	4	1	31	静岡クッキングツアー(調理実習)
15	台湾	10月15日(水)	国立彰化高中	61	6	2	69	静岡市立高等学校
	16		10月21日(火)	モンゴルドルノゴビ県高校生訪問団	50	5	2	57
モンゴル		10月24日(金)						
モンゴル		10月23日(木)						
17	台湾	10月24日(金)	大湾・南寧高級中学	22	5	1	28	県立焼津中央高等学校
18	台湾	10月27日(月)	国立華南高級商業職業学校	19	10	3	32	県立静岡商業高等学校
19	台湾	10月28日(火)	国立竹北高級中学	32	3	1	36	県立池新田高等学校
20	台湾	11月4日(火)	国立清水高級中学	51	4	2	57	県立沼津東高等学校
21	台湾	11月4日(火)	羅東高級工業職業學校	23	3	1	38	県立科学技術高等学校
22	台湾		国立宜蘭高級商業高校	10	1			
23	台湾	11月4日(火)	台北市立大安高級工業職業学校	33	2	1	36	県立沼津工業高等学校 県立島田商業高等学校
		11月5日(水)						
24	台湾	1月23日(金)	国立豊原高級中学	49	4	2	55	県立富士宮東高等学校
25	台湾	1月30日(金)	台南市天主教徳光中学	29	1	3	33	藤枝明誠高等学校
26	中国	2月3日(火)	長沙外国語学校	29	5	1	35	県立島田工業高等学校
27	台湾	2月6日(金)	国立台南第一高級中学	70	6	2	78	県立藤枝東高等学校
				1,030	99	39	1,168	

(件名)

1 (3) 県内教職員の海外研修等の実績

(教育委員会高校教育課)

1 要 旨

県教育委員会では、教職員の国際感覚や英語指導の専門性を向上するため、様々な海外派遣研修を実施している。

2 教職員派遣研修の内容

(1) 長期派遣

※平成 26 年度実績

区分	小・中	高 校	特 支	合 計	備 考 (派遣先等)
在外教育施設	28	0	0	28	[小・中] メキシコ合衆国・中華人民共和国・アメリカ合衆国・ベルギー王国・タイ王国・韓国・ドイツ・インドネシア・サウジアラビア・パラグアイなど
青年海外協力隊 日系社会青年ボランティア	6	2	1	9	[小・中] モンゴル・ブラジル・エクアドル、カンボジアなど [高] ラオス・カンボジア [特] マレーシア

※平成 27 年度青年海外協力隊の派遣 (予定) **3人を増員**

区分	小・中	高 校	特 支	合 計	備 考 (派遣先等)
青年海外協力隊 日系社会青年ボランティア	8	2	2	12	[小・中] モンゴル・ブラジル・エクアドル、カンボジアなど [高] ラオス・カンボジア [特] マレーシア、グアテマラ

※青年海外協力隊の派遣については、人件費補てん制度の適用となり、自己負担はない。

(2) 短期派遣

ア 高校英語教員海外研修派遣

- 英語教員の専門性向上を図るため、2か月間、米英の大学に派遣研修を行う。派遣に係る経費のうち、総額の 50%を教員研修センターが負担 (上限 90 万円) する。県は規程に則り旅費を支出 (約 25%) し、残りは自己負担 (約 25%) となる。
- 平成 27 年度 3 人 (平成 26 年度 3 人)

イ 公益財団法人はごろも教育研究奨励会の教職員の海外交流支援派遣

- はごろも教育研究奨励会では、教職員の海外交流支援のため、一人当たり 50 万円を限度として、海外派遣費用を補助している。
- 派遣者数は、公立、私立の義務、高校の県内教員のうち合計 13 人以内

※平成 27 年度の県立高等学校における派遣 (予定を含む。)

学校等	職等	派遣先	派遣期間
富岳館	教諭 2 人	アメリカ (インディアナ州)	5 月 17 日～23 日
静岡商業	教諭 2 人	台湾、シンガポール、マレーシア	8 月 24 日～30 日
磐田農業	教頭、教諭	タイ	8 月 16 日～24 日

ウ 日中青年代表交流

- 県内の経済、産業、教育、行政など各分野の青年代表が、中国浙江省の青年との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行うことにより発展的協力関係を築くことを目的としている。
- 自己負担は 15 万円であったが、平成 27 年度からは公益財団法人はごろも教育研究奨励会が 7 万 5 千円を補助する。

年度	23	24	25	26	合計
参加教員数 (人)	6	6	5	4	21

- 【参考】
- 公立高校教員の海外渡航歴率は 82.8%
 - パスポート (有効旅券) 取得率は 54.8%。(平成 27 年 4 月調査)

(件名)

1 (4) 私立高等学校の国際交流の状況

(総合教育局私学振興課)

(要旨)

本県の私立高等学校における帰国子女の受入れ、海外修学旅行など国際交流に資する活動の状況は以下のとおりである。

1 帰国子女の受入れ状況 (私立学校実態調査)

年度	受入れ校数	受入れ人数
22	21	73
23	15	57
24	13	64
25	17	66
26	18	64

2 海外修学旅行の実施状況 (私立学校実態調査ほか)

年度	実施校数	参加人数
22	23	3,572
23	28	4,253
24	29	4,295
25	20	3,294
26	20	3,204

※26年度の主な訪問国・地域(学校数)

アメリカ(9校)、台湾(6校)、オーストラリア(4校)、イギリス(4校)

3 留学生の派遣、受入れ状況 (私立学校実態調査)

(1) 派遣、受入れ校数等

年度	派遣		受入れ	
	校数	人数	校数	人数
21	13	66	13	89
22	10	60	11	46
23	13	58	9	25
24	16	79	10	32
25	16	80	14	47

※受け入れている「留学生」は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「就学」(平成22年7月1日以降は「留学」)の在留資格を有する者である。

(2) 国・地域別派遣状況（平成 25 年度）

派遣先	派遣人数
カナダ	36
アメリカ	26
オーストラリア	13
ニュージーランド	3
イギリス、フランス	各 1

(3) 出身国・地域別受入れ状況（平成 25 年度）

出身国	受入れ人数
オーストラリア	13
中国	9
タイ	7
ドイツ、インド	各 4
韓国	3
アメリカ	2
スウェーデン、クロアチア、 フランス、スイス、デンマーク	各 1

(件名)

2 (1) 高校生の海外渡航の促進策

(教育委員会高校教育課)

1 要 旨

県教育委員会では、海外修学旅行の増加に向けて、下記のとおり校長を中心に、海外修学旅行の検討を働きかけている（別紙新聞記事を参照）。

2 海外経験の促進策

(1) 教育旅行セミナー

項 目	内 容
県内高校の全校長対象の教育旅行セミナー (平成 27 年 2 月)	<日時・対象> ○2/13 (金) ブロック毎に 全校長 115 人を対象 に開催 (東部 39 人・中部 34 人・西部 42 人) ○テーマ「富士山静岡空港を利用した教育旅行の魅力」 <内容> ○グローバル人材の育成における教育旅行等の活用 (高校教育課) (別紙資料を参照) ○台湾教育旅行調査団の報告 (参加校長) ○富士山静岡空港活用のポイント (空港利用促進課)

(2) 修学旅行調査団と個別セールス

項 目	内 容
台湾修学旅行調査団 (平成 26 年 8 月)	・ 高校教育課長を団長に校長等の管理職が参加 (8/8~12) 現地にて修学旅行の可能性、安全性を直接確認 ・ 高校教育課長と台湾国際教育旅行連盟会長が協議し、さらなる修学旅行での交流促進を確認 ⇒ 平成 27 年度も同様に実施
個別セールス活動	・ 調査団参加校にセールスした結果、 <u>3校が台湾修学旅行の実施方針を決定 (合計約 720 人)</u> ・ 台湾への修学旅行は、 H26 : 約 890 人 ⇒ H28 : 約 1,610 人に増加予定

(3) その他の施策

項 目	内 容
全管理職に対する督励	・ 高校教育課長から会議内で直接督励 (H27.4 全校長会 、H26.11 校長協会総会、副校長・教頭会総会)
広報誌 e ジャーナルでの広報	・ 海外渡航を促進する内容を特集記事で掲載
留学フェア	・ 高校生に海外渡航意識を醸成するイベントを実施 (H26.10.19)

高校修学旅行は海外に

県教委、検討呼び掛け

県教委は県内の高校長に対し、修学旅行先に海外を検討するよう積極的に呼び掛けている。川勝平太知事は県内の公立高校の海外修学旅行の実施率を全国3位(2013年度)から1位に引き上げる目標を掲げる。県内の高校長からは「生徒の視野が広がり、国際感覚が身に付く」とメリットを認める声が上がっている一方、「安全面などに不安も大きい」と慎重な指摘も聞かれる。

会のもとによると、県内の公立高校の海外修学旅行の実施率は28・9%で、1位の大阪府(31・9%)、2位の京都府(30・1%)に次いで高い。行き先は韓国や台湾、東南アジア、米国、欧州などが占める。

知事は、県教委との県総合教育会議で「教職員と高校生の国際化」を重点課題の一つに挙げた。海外を訪れる貴重な機会として修学旅行を位置付け、「1位」を目指して取り組みを強化する方針を表明した。県高校教育課は「より多くの高校生に海外から日本を見つめる経験をしてもらいたい」として、高校生を対象にした海外留学フェアなどにも力を入れている。

14年度にフランス、マレーシア、イタリアからの選択制で修学旅行を行った清流館高校(焼津市)の赤塚顕宏校長は「多様な価値観を認識でき、海外を自分の足で歩いた達成感も得られる」と強調する。

本年度も海外を修学旅行先に組み入れているという。

一方、海外でのテロや事故など不測の事態への懸念も根強い。県西部の高校長は「海外体験はもちろん貴重だが、安全面や引率のしやすさを考えると、やはり国内が優先される」と指摘する。

海外修学旅行のすすめ

海外渡航を促進するには？

⇒修学旅行が最も効率的なことは一目瞭然！

でも、皆さんからは、「うちの学校は、

- ・ 経済的に保護者が納得してくれないから、費用の高いのは無理・・・
- ・ 海外での生徒管理が大変だし、教員が反対するから無理・・・
- ・ 3年に1回の見直しだから、今から検討なんて無理・・・」とのあきらめの声が多く聞かれますし、学校経営上の理由も理解できます。

しかし、これから国際化する社会に出るのは高校生たちだし、就職先の海外展開している企業からグローバル人材を求められていませんか？

ぜひ、学校内で時代の変化を認識し、生徒本位で話し合ってみてください。

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会



海外渡航経験の付与のすすめ

1 修学旅行は、東南アジア、特に台湾がお勧め

- ・ 私学のように欧米に行けたら幸せですが、近年、東南アジアが発展し、早いし随分と行きやすくなりました。
- ・ 韓国や中国の外交問題は残念ですが、台湾なら親日的だし、早く安全です。
- ・ 費用も10万円ちょっと、負担増も少なくて済みます。
- ・ 利便の良い静岡空港が利用できれば、さらに快適です。

2 修学旅行でなくても、短期研修旅行の実施を

- ・ 修学旅行は国内でも、短期の研修旅行を設定する高校が増えています。
- ・ 短期で少人数なら、安全・手軽で、休暇期間の活用で日程も立てやすい。
- ・ 県の駐在員事務所を活用する等、バリエーションに富んだ研修が組めます。
- ・ 戻ってからの報告会などで、他の生徒への教育にも活用できます。

ものづくり県の静岡県は、グローバル教育の先進県と言われるべきです！

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会



(件名)

2 (2) 実践的なグローバル教育の推進

(教育委員会高校教育課)

1 要旨

県内高等学校では、実践的に生徒の英語力や国際感覚を向上させるため、学習指導要領に基づく教育を補強する様々な取組を実施している。

2 概要

(1) ALT (Assistant Language Teacher) の積極的配置

項目	内容
業務	・ 本務教師とティームティーチングにより英語を指導
配置	・ 原則として各県立高等学校に1人 (国際科、英語科設置校には2人配置、分校等には配置しない。)
任用数	・ 平成27年度は県立高校87校(91人)、高校教育課(1人)、総合教育センター総合支援課(2人)の合計94人を配置予定 ・ 国が推奨するJETプログラム (自治体国際化協会の行うALTの招致事業)での受入れ数は、 全国第3位
効果	・ 生徒の外国語学習への意欲喚起、聞く力・話す力の向上、異文化理解の促進 ・ 教職員の指導方法の改善及び外国語運用能力の向上

(2) スーパーグローバルハイスクール指定校(県立三島北高校)

項目	内容
趣旨	・ 大学、企業、国際機関等との連携により、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を文部科学省が指定する制度 ・ 県内で唯一、県立三島北高校が指定 (平成26年度は、全国246校から申請があり、56校が指定) ・ 平成26年度の予算は約1,400万円
取組	・ 世界的課題であり、三島市も取り組む「安全な水の確保」をテーマにした課題研究 ・ 大学・企業・行政・NPO・海外高校等との連携の下、フィールドワークや体験学習、海外学生との協働研究等を実施
海外研修	・ 平成26年8月25日から29日に、教職員5人、生徒12人がシンガポールを訪問 ・ 水に関わる様々な施設等の見学、現地高校生との交流プログラム等を実施

(3) 英語力を強化する指導改善事業

項目	内容
趣旨	・ 英語によるコミュニケーション能力等を確実に養い、グローバル化等に対応した人材の育成を強化
取組	・ 外部専門機関と連携した効果的な研修を通して、英語教育に携わる者の指導力の向上を図る事業を実施 ・ 外部専門機関講師による指導を得ながら、教育委員会主催による研修、静岡県高等学校英語教育研究会との協働による研修を実施し、外国語担当教員の指導力向上及び各学校における指導改善を推進
目標	・ 外国語担当教員に求められる 英語力(英検準1級以上)を有する教員の割合を平成29年度までに75% に(平成26年度は56%) ・ 高等学校第3学年の生徒に求められる 英語力(英検準2級以上)を有する生徒の割合を平成29年度までに50% に(平成26年度は37%)

(件名)

2 (3) 高校生の国際交流の推進

(教育委員会高校教育課)

1 要 旨

静岡県の高中生と海外の高中生との交流は、東アジアを中心に相互に行われている。現在は、国際情勢の問題もあり、台湾をメインに推進している。

2 内 容

国・地域名	交 流 内 容																																				
(1) 台湾	<ul style="list-style-type: none">平成 21 年 9 月に台湾の 4 縣・市（高雄市、台北縣、高雄縣、嘉義市）と、平成 23 年 3 月には、3 縣・市（台中市、彰化縣、台東縣）との間に協定を締結し、交流野球及びバスケットボールの選抜チーム(約 30 人前後の交流規模)が、平成 26 年度まで相互に訪問して交流親善試合を実施平成 27 年度は、ロボット製作、競技大会で工業系の高校 15 人程度が台湾で交流台湾の高校の訪日教育旅行の生徒を、本県高校で交流受入れを実施（資料 1 (2) 参照）																																				
(2) モンゴル (ドルノゴビ県)	<ul style="list-style-type: none">平成 23 年の静岡県とモンゴル国ドルノゴビ県の友好協定を受け、平成 24 年度から相互交流を開始、費用は、受入れ側で負担平成 24 年 1 月 26 日～2 月 1 日：ドルノゴビ県高校生 30 人来静平成 25 年 8 月 12 日～17 日：県内高校生 30 人ドルノゴビ県訪問平成 26 年 10 月 20 日～27 日：ドルノゴビ県高校生 50 人が来静平成 27 年 8 月 4～9 日：県内高校生 30 人がドルノゴビ県訪問予定記念式典や両県の特色を生かした体験活動、観光等で交流を実施																																				
(3) 中国 (浙江省)	<ul style="list-style-type: none">浙江省とは、平成 24 年度 4 月に、折江省教育庁と静岡県教育委員会の間で友好交流に関する協定書を締結し、県立高校 9 校が各交流校と覚書を交換現在は、生徒の行き来はなく、メールや書簡での交流を実施																																				
(4) その他	<ul style="list-style-type: none">県内 11 高校（平成 26 年度実績）が、海外高校と姉妹校提携をして、交流を推進 <table border="1"><thead><tr><th>学校名</th><th>姉妹校提携校</th><th>国・地域名</th></tr></thead><tbody><tr><td>伊豆中央</td><td>武義第三中学</td><td>中国</td></tr><tr><td>三島北</td><td>杭州第七中学</td><td>中国</td></tr><tr><td>吉原</td><td>台湾馬公高級中学</td><td>台湾</td></tr><tr><td>島田商業</td><td>ディアンザ高校</td><td>アメリカ</td></tr><tr><td>横須賀</td><td>遂昌県職業中等專業学校</td><td>中国</td></tr><tr><td>袋井</td><td>トーマス・ハッサール・アングリカン・カレッジ</td><td>オーストラリア</td></tr><tr><td>磐田南</td><td>マウンテンビュー高校</td><td>アメリカ</td></tr><tr><td>磐田農業</td><td>パヤオ農工専門学校</td><td>タイ</td></tr><tr><td>浜松湖南</td><td>ヘンドン校</td><td>イギリス</td></tr><tr><td>浜松工業</td><td>沙鹿高級工業職業学校</td><td>台湾</td></tr><tr><td>下田</td><td>タウンゼント・ハリス高校</td><td>アメリカ</td></tr></tbody></table>	学校名	姉妹校提携校	国・地域名	伊豆中央	武義第三中学	中国	三島北	杭州第七中学	中国	吉原	台湾馬公高級中学	台湾	島田商業	ディアンザ高校	アメリカ	横須賀	遂昌県職業中等專業学校	中国	袋井	トーマス・ハッサール・アングリカン・カレッジ	オーストラリア	磐田南	マウンテンビュー高校	アメリカ	磐田農業	パヤオ農工専門学校	タイ	浜松湖南	ヘンドン校	イギリス	浜松工業	沙鹿高級工業職業学校	台湾	下田	タウンゼント・ハリス高校	アメリカ
学校名	姉妹校提携校	国・地域名																																			
伊豆中央	武義第三中学	中国																																			
三島北	杭州第七中学	中国																																			
吉原	台湾馬公高級中学	台湾																																			
島田商業	ディアンザ高校	アメリカ																																			
横須賀	遂昌県職業中等專業学校	中国																																			
袋井	トーマス・ハッサール・アングリカン・カレッジ	オーストラリア																																			
磐田南	マウンテンビュー高校	アメリカ																																			
磐田農業	パヤオ農工専門学校	タイ																																			
浜松湖南	ヘンドン校	イギリス																																			
浜松工業	沙鹿高級工業職業学校	台湾																																			
下田	タウンゼント・ハリス高校	アメリカ																																			

(件名)

2 (4) 地域学に関する取組

(教育委員会高校教育課)

1 要旨

国際人となる第一歩として、自国の歴史・文化等に対する知識と理解を深め、外国に発信できる能力を養うことが必要である。現在、県立高校においては、地域の特色を知り、継承していくことなどを学ぶ教育を、下記のとおり実施している。

2 概要

(1) 教科・科目等	教科・科目等	内容等
	地理歴史	<ul style="list-style-type: none">世界史及び日本史又は地理を必修平成34年度以降に日本史と世界史の近現代史を合わせた新しい歴史科目の設置を検討
	課題研究	<ul style="list-style-type: none">三保の松原の松葉（静岡農業）志太の発酵文化（藤枝北）茶草場農法（磐田南）など
	学校設定科目	<ul style="list-style-type: none">観光資源（熱海）静岡県の文学、伊豆の経済（土肥）伊豆の自然（田方農業）茶文化（静岡農業）、茶業（小笠）木の文化（天竜）森町の伝統工芸（遠江総合）など
	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none">西豆学（松崎）坦庵公に学ぶ（韮山）茶文化探究（小笠）南伊豆ゼミナール（南伊豆分校）など
(2) 特別活動	項目	内容等
	部活動 （自然科学等）	<ul style="list-style-type: none">静岡県における歴史地震（磐田南）佐鳴湖浄化（浜松北）外来生物の拡散（浜松湖東）など
	部活動 （郷土研究等）	<ul style="list-style-type: none">郷土芸能（横須賀など7校）郷土研究（新居など7校）
(3) 県教育委員会が実施する事業形式の活動	事業名	内容
	「地域学」推進事業 ※学校単位	<ul style="list-style-type: none">伊豆半島ジオパーク（松崎、伊豆総合）富士山（裾野）郷土の環境と食材（春野校舎）
	フィールドワーク ※生徒参加者を公募	<ul style="list-style-type: none">富士山（宝永火口、大沢扇状地）伊豆半島ジオパーク（大室山、城ヶ崎海岸）
	高校生ひらめき・つなげるプロジェクト 表彰校 (アイデア提案・実践部門) (平成26年度実績)	<ul style="list-style-type: none">The Ocha（ジオ茶）（伊東商業）沼津夢高架橋（沼津西）ジオパーク活動による地域振興（松崎）富士宮の特産物「梅ドレッシングの開発」、伝統の白糸とうがらし入り焼きそば開発（富岳館）など